

# ひるまだより

OPひるま歯科 矯正歯科  
OP Hiruma Dental Clinic

〒190-0012 立川市曙町1-36-1 曙第3ビル2F  
TEL=042-526-3376 HP=http://www.hiruma.or.jp/  
E-mail=clinic-contact@hiruma.or.jp

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						01			01	02	休	休	06
休	03	04	05	休	休	08	休	08	09	10	休	12	13
09	休	11	12	休	14	15	14	休	16	17	休	19	20
休	17	18	19	休	21	22	休	22	23	24	休	26	27
23	休	25	26	27	休	休	休	28	30	31			
休													

▶4月より診療時間が変更になります。詳しくはHPをご覧ください。



新しい医院で今の状態を改善し前に進みたいと強く思うようになり、晝間先生に再治療をお願いすることに決めました。矯正治療

新しい医院で今の状態を改善し前に進みたいと強く思うようになり、晝間先生に再治療をお願いすることに決めました。矯正治療

以前の医院へは2、3年通いました。まだ治療の途中でしたが、アンカースクリューを入れたあたりから上下の歯の隙間がどんどんあいてきて噛み合わせも以前より悪くなってしまったんです。このまま治療を続けることに不安を感じるようになり、セカンドオピオンの医院を探しました。ホームページを見てOPひるま歯科矯正歯科に何うと晝間先生が今の歯の状態と、これからのような治療をするべきかとでもくわしく説明してくれました。

◆再治療を検討している方にメッセージをお願いします。  
——今受けている治療に疑問を感じたらとても不安になると思います。私は最初の医院選びの際、あまりくわしく調べず、ただ裏側治療をやっている医院を探して治療を受けました。転院して再治療するというのは勇気がいることです。でも私のように思い切って他の先生にも診てもらおうと満足のいく結果が得られるかもしれません。簡単に転院をおすすめできませんが、参考にしてみたいです。

◆矯正治療を始めたきっかけを教えてください。  
——小さい頃から左右の上の歯がいつな形の八重歯でコンプレックスでした。社会人になって矯正治療を始めようと思ったのですが、歯の表に矯正装置をつけることに抵抗があり、装置が目立たない裏側矯正に対応している医院を探して治療を受けることにしました。今回の治療を受ける前に別の医院で矯正治療を受けていたのです。

◆歯並びが改善してきたことはいっ頃から実感しましたか。  
——通院のたびに歯並びの状態が良くなってきているのは自覚できました。それまでは上下の歯が噛み合っていないから外に出たり、同じ場所でも噛み合えなかったりという問題があったのですが、上下の歯が噛み合ってくるにしたいが、全部の歯で噛めるようになってきたのが嬉しかったですね。

患者さんインタビュー42 Mさん  
他医院での治療に不安を感じ再治療全部の歯で噛めるようになり嬉しい  
インタビューの内容をタイジエラスト版でお届けします。全文はホームページに掲載しています。



OP ひるま歯科 矯正歯科  
院長 晝間康明

## Mさんの症状について解説します

咬合が不安定になった舌側矯正治療に対する再矯正治療  
初診時の診断：上突咬合 開咬合 叢生歯列弓 下後退顎

### 初診時



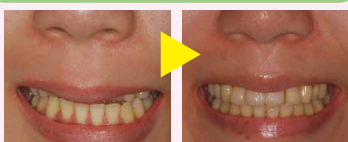
### 動的治療開始時



### 動的治療終了時



### 正貌 スマイル時



### 上顎前歯



Mさんは矯正治療中に咬合が不安定になり主治医から十分な説明などを受けられなかったことでセカンドオピニオンを希望し受診され、その後、前医による治療が中止となり当院へ転医となりました。初診時はオトガイ部の後退感強くスマイル時に上顎前歯がほとんど見えない状態で、上顎に舌側矯正装置、唇側に牽引用のボタン、アンカースクリュー、下顎に唇側矯正装置が装着されていました。咬合平面は湾曲し臼歯部のみが接触する開咬となっていました。

再矯正治療方針は、装置をすべて除去し初期治療により歯周炎の改善を行うこととしました。初期治療後、歯周炎は改善されアンカースクリューにより圧下されていた上顎前歯が自然に挺出してきた開咬が改善されてきましたが、上顎前歯は依然として舌側に傾斜していること、叢生と下顎左6番の近心傾斜が残り咬合平面の湾曲による不安定な咬合が残りました。改善には唇側の矯正装置を装着する必要があること、歯根吸収がさらに進む可能性があることを説明し、再矯正を開始しました。下顎右7番の根尖病巣は大きく再根管治療時の予後不良であると予想し左8番を移植する事にしました。

治療結果は、スマイル時に上顎前歯が適切なバランスで見えるようになりました。歯軸コントロールにより上顎前歯の舌側傾斜は改善し、叢生、下顎左6番の近心傾斜が改善されました。